



## 共編著

- 『アクセス 国際政治経済論』(河野勝と共編) 285頁、(日本経済評論社、2003年5月)  
うち「国際政治経済論とは」(河野勝と共同執筆)、「国際金融」の章を担当。  
内閣府経済社会総合研究所企画監修『日本経済の記録 バブル/デフレ期の日本経済と経済政策 歴史編 第3巻』  
(松島茂と共編) 佐伯印刷、2011年3月  
『民主党を見つめ直す』(藤村修 竹中治堅インタビュー・構成) (毎日新聞社、2014年11月)。  
『対欧米外交の追憶 1962-1997』上下(有馬龍夫 竹中治堅編) (藤原書店、2015年2月)。

## 単著論文

- “Introducing Junior Ministers and Reforming the Diet” *Asian Survey* 42:6 (Nov/Dec 2002): 928-939。  
「バブル発生の政治学—1985年～1989年の金融政策：制度、選好、マクロ経済政策—」『レヴァイアサン』34号  
(2004年4月) 92-122頁。  
「『日本型分割政府』と参議院の役割」『年報政治学 2004』,(2005年1月). 99-125頁。  
「『小泉以後』の三条件 世論・改革・参議院の重さ」『中央公論 2005年9月号』(2005年8月) 93-103頁。  
「日本型分割政府と法案審議—拒否権プレーヤーと『金融国会』再論」『選挙学会紀要』5号(2005年11月) 43-59頁。  
「安倍首相と参院選のパラドックス」『中央公論 2007年5月号』(2007年4月) 122-132頁。  
(翻訳の上、転載、“The Upper House Election Paradox”, *Japan Echo*, vol. 34 no. 4 (August 2007), 28-34)  
“Abe Takes an Electoral Beating”, *Japan Echo* vol.34.no.5, October 2007,7-15。  
“Fukuda’s Rise and the Return to the Old LDP”, *Japan Echo*, vol.34.no.6, December 2007, 11-14。  
「首相と参議院の独自性：参議院封じ込め」、『選挙研究』, 23号(2008年2月) 5-19頁。  
“Deja vu: Sudden Prime Ministerial Resignations,” *Japan Echo*, vol. 35, no. 6, pp. 7-10 December, 2008。  
“The New Government’s Agenda,” *Japan Echo*, vol.36, no. 5, October 2009。  
「参議院多党化と定数は正が『ねじれ』を克服する」、『中央公論 2010年6月号』106～113頁(2010年5月)。  
「Rethinking the House of Councillors」/「参议院多党化与修正定数克服扭曲现象」*Japan Echo Web*/  
日本論壇 No. 1 (2010年6-7月号)。  
「『外交』『経済』の解決策が見えない菅政権」『潮』2010年12月号, 68-73頁。  
「参議院のあり方を考える」『読売クォーター』2010年秋号. 120-129頁。  
竹中治堅「2010年参院選挙後の政治過程—参議院の影響力は予算にも及ぶのか」『選挙研究』27巻2号  
(2012年1月) 45-59頁。  
竹中治堅「日本の議院内閣制と安倍内閣の行方:ウェストミンスター化を拒む『壁』」nippon.com.2013年8月5日  
<http://www.nippon.com/ja/in-depth/a02301/>。  
竹中治堅「公論2015 国会を動かしているのは誰か—「一強多弱」でも阻まれる首相の権限」  
『中央公論 2015年3月号』126-138頁(2015年2月)。  
竹中治堅「『安倍一強』の制度的基盤—『首相支配』の発展と国政への責任」『中央公論2017年11月号』  
(2017年10月) 98-115頁。  
竹中治堅「議院内閣制の変容と『村度』」『中央公論2018年6月号』(2018年5月) 40-49頁。  
Harukata Takenaka, “Expansion of the Japanese prime minister’s power in the Japanese parliamentary system:  
Transformation of Japanese politics and the institutional reforms” *Asian Survey* 59:5 (September/October 2019)。  
竹中治堅「菅政権、混乱の対応を読み解く」『中央公論2021年3月号』(2021年2月) 96-103頁。

## 共著論文

- “The Politics of Postal Savings Reform in Japan” (Jeniffer Amyx とA.Maria Toyoda と共同執筆)  
*Asian Perspective* Vol.29, no.1, 2005, 23-48 (2005年3月)。  
「バブル期と長期経済低迷期の政策当局者達の証言」(原田泰と共同執筆) 松島茂・竹中治堅共編  
内閣府経済社会総合研究所企画監修『日本経済の記録 バブル/デフレ期の日本経済と経済政策  
歴史編 第3巻』佐伯印刷、2011年3月。

## 博士論文

- The Collapse of the Semi-Democratic Regime in Prewar Japan 1998年5月 スタンフォード大学Ph.D論文